

賤機山城 静岡市葵区

築城年代は定かではない。賤機山城は今川氏館の詰城と考えられており応永 18 年(1411 年)に今川範政が駿府に入府した頃に築かれたと考えられている。永禄 11 年(1568 年)武田信玄の駿河への侵攻に対して、今川氏真は北条氏に援軍を求めて薩埵峠で迎え撃とうとしたが、家臣の瀬名信輝や葛山氏元らが武田に内通しており遠江国掛川城の朝比奈泰朝を頼って落ち延び戦国大名としての今川家は滅亡した。武田氏は駿府へ入ると籠鼻(賤機山城と考えられている)に陣取り今川館に火を放って焼き尽くし、その後は武田氏の管理下に置かれたと考えられ、天正 10 年(1582 年)徳川家康が駿府に入ると廃城となった(各種資料、説明版)。また、主郭の南西麓の臨濟寺は太原雪斎(家康の教育係)ゆかりの寺で、今川義元が兄氏輝の菩提寺として創建、家康幼少期にはこの寺で教育されたという。(パンフ)



山城の登城に行く途中に富士山と駿河街



同城の説明版



同城の土塁跡(ある部分は崩れている)

山頂



同城の石柱と曲輪



犬走り



地質は岩盤で強固



臨濟寺石柱



本殿



庫裡